

イノベーション賞受賞

## すべての方にイノベーションを 誰もが利用しやすい金融サービスの実現に向けて

2021年デューティ・オブ・ケア・アワードでイノベーション賞を受賞したパプアニューギニア銀行は、コンセントから電源を取れない方やインターネットにアクセスできない方も含めた、すべての方が金融サービスを利用できるよう、テクノロジーを活用しました。

パプアニューギニア銀行（以下、BPNG）は、同国の中央銀行です。その主な目的は、金融・銀行政策がパプアニューギニア国民にとって最大の利点となるよう方向づけること、そして金融の安定と、健全かつ効率的な金融構造の促進に努力を傾けることです。

しかしながら、パプアニューギニアでは約800万人の人口のうち、

- 85%が銀行口座を持っていません。
- コンセントから電源を取れるのは、わずか20%です。
- 出生証明書を持っているのは、わずか5%です。

加えて、インターネットの接続環境は脆弱で、広くは普及していません。

多くの方々は銀行口座やその他の金融サービスを利用することが難しい状況なのです。その結果、仕事を得ること、土地を所有すること、そして選挙権を得ることが、極めて困難になっています。

デューティ・オブ・ケア（安全配慮義務）への取り組みの一環として、BPNGはこのチャレンジに挑みました。BPNGの副総裁でコーポレート部門担当のMargaret Reddickさんは、次のように説明します。

「戦略プランの柱のひとつは、すべてのパプアニューギニア国民に対する金融包摂\*の追及です。BPNGは、新しい技術や新興の技術を調査し、それが銀行規制に与える影響を理解し、新しい技術や新興の技術を受け入れる文化を発展させる義務を負っています。

\*すべての人々が、経済活動のチャンスをつかむため、また経済的に不安定な状況を軽減するために必要とされる金融サービスにアクセスでき、またそれを利用できる状況

かねてより私たちは、富や社会的地位に関係なく、すべての方が金融や社会的な商品・サービスを利用しやすく、手頃な価格で利用できることを目指してきました。そのために重要なのは、国民が自分の身分を証明するための、適切で信頼できる方法を見つけることでした。」



## イノベーション賞受賞

### テクノロジーの導入とパートナーシップの構築

2016年、BPNGは金融・社会包摂を実現するためのツールとして、デジタル・ブロックチェーン技術（以下、DLT）の活用についての調査を開始しました。BPNGの経営陣は、金融・社会包摂を達成するためには、本人証明がカギになると考え、これを積極的に支援しました。

BPNGは初期調査として、2017年1月のロンドン・ブロックチェーン・ウィーク & ハッカソン\*に協賛・参加し、2018年と2019年にも、再び協賛・参加しました。

\* ハック（hack）とマラソン（marathon）を組み合わせた造語とされ、プログラマーや設計者などのソフトウェア開発の関係者が、短期間に集中的に開発作業を行うイベント

BPNGはまた、パプアニューギニアで初めて開催されたDLT会議に協賛・主催し、240名の参加者が9か国の発表に耳を傾けました。

さらに、イノベーションを促進するために、パプアニューギニアデジタル商取引協会という法人を設立し、後援を始めました。

### デジタル・アクセスツール

このようにさまざまなコラボレーションによって、BPNGは、デジタル・アクセスツール（以下、DAT）を含む多くの製品やサービスの誕生をサポートしました。DATとは、コンセントからの電源も、インターネットへの接続も不要で、「スマートフォン」のモバイル技術も使わない、世界初のデジタル身分証明書作成ツールです。

例えば、公的な身分証明書を発行する担当者は、率先して遠隔地のコミュニティを訪問しています。そこでは、地元の長老たちが一人一人の身分を証明してくれるのです。おかげで、そのコミュニティの人々に個人の公的身分証明書となるスマートカードが与えられるのです。

アバウ、ヴェスロゴ、ウィワック、マブリックの4カ所において、DATの実地テストが滞りなく行われました。100名以上が、生まれて初めて自分の身分証明書を手にしました。DATの世界最高水準のサイバーセキュリティ・テストは、プライス・ウォーターハウス・クーパーズによって、香港でも行われました。

DATのおかげで、今まで利用できなかった様々な業者の金融・社会的商品やサービスを、個人が利用できるようになります。またDATには、診療記録、土地所有権、家系図、投票記録など、様々な社会的・経済的記録を取得できる可能性もあります。

### レギュラトリー・サンドボックス\*

BPNGはさらに、南太平洋で初の「レギュラトリー・サンドボックス」の創設も実現させました。これは、社会的・金融包摂を促進する新たな社会的・経済的機会を創出することを目的とした新技術のテストに、管理された環境を提供するものです。DATは、レギュラトリー・サンドボックスによる厳格なテストとなりうる革新的技術の一つと言えます。

2019年半ば、BPNGのレギュラトリー・サンドボックスは、イギリス連邦フィンテック（金融Financeと技術Technologyを組み合わせた造語）・ツールキットを出版する際の事例として選ばれました。この大規模な研究は、イギリス連邦の人々の暮らしをよりよくする、フィンテックのイノベーションの活用例として企画されました。

\* 規制の砂場：革新的な新事業の創出を目的として、対象事業の実証実験に対する現行法規制の適用を対象者を限定して一時的に停止する規制緩和策

**Elizabeth Geniaさんは、次のように締めくくります。**

「私たちはDATプロジェクトが、パプアニューギニア国民にご利用いただける多くのデジタル身分証明の解決策のひとつになるだろうと信じています。さらに、個人認証のスピードとコストを削減し、さまざまな国際的資金提供によるイノベーションがBPNGサンドボックスのために行われるよう土台作りをし、パプアニューギニア全土の起業家のために「やればできる」環境を整える、と信じています。このような取り組みにより、パプアニューギニアの国民に金融・社会包摂をもたらすことができるのです。」

### 成功要因

- ・ 新しい技術と新興の技術を調査し、取り入れたこと。
- ・ イノベーションを最大にするために、パートナーシップを構築し協力したこと。
- ・ 社会の中で最も裕福でない方々のために、現実的な解決策を模索したこと。